

軍事秘密

軍審發給一七號

陸軍軍需審議會兵器供覽並幹事會開催ノ件

昭和八年六月十四日

陸軍軍需審議會幹事長 西浦

進

陸軍軍需審議會幹事

佐々木隆綱殿

左記議題ニ關シ六月十八日(金)陸軍步兵學校裏練兵場及千葉陸軍
戦車學校ニ於テ別紙要領ニ依リ陸軍軍需審議會兵器供覽並幹
事會開催致スヘキニ付參集相成度

追而準備ノ都合モ有之候ニ付參集並晝食ノ有無ヲ十五日中ニ御
通知煩度尚參集ノ節ハ同封關係書類御持參相成度

左記

一 裝甲兵車審議會ニ關スル件

0571

0572

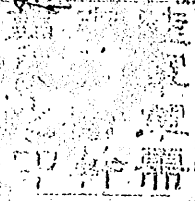
御參集

賴

催件

浦

進



0571

0572

兵場及千葉陸軍

會兵器供覽並幹

月無ヲ十五日中御

參相成度

御參集係ル旅費ハ當會ヨリ御支給可致候

陸軍軍需審議會

別紙

陸軍軍需審議會兵器供覽並幹事會開催要領

區分

摘

要

集合場所

陸軍歩兵學校裏練兵場

日時

六月十八日（金曜）八、五〇集合

試験供覽

九、〇〇一、二、三〇（於陸軍歩兵學校裏練兵場）

試験項目

1. 不齊地、泥濘地、壕、工事、彈痕地ノ運動性能比較
2. 路外地ノ踏破性能比較
3. 路上性能比較

参考

一三、〇〇一、二六、〇〇（於千葉陸軍戰車學校）

備考

八、三〇千葉驛ニバスヲ準備シアリ

0573

軍事秘密

(規則第七拾壹條適用)

用済後焼却

装甲兵車概説

附図	附表	紙数
八枚	二枚	七枚

昭和十八年六月十二日
第四陸軍技術研究所

0574

装甲兵車概説

昭和十八年六月十二日
第四陸軍技術研究所

一、研究ノ起因

昭和十二年機械化歩兵車ノ研究ヲ開始シ同十三年自重約四、五吨ノ全輪起動四輪車ヲ以テスル研究ヲ略々終了シアリシモ部隊ノ創設ヲ見ルニ至ラズシテ爾後、研究ヲ中止セリ、昭和十六年末(甲)兵団ノ創設ニ伴ヒ全裝軌装甲兵車(裝軌貨車ヲ改修ス)引キ続キ半裝軌装甲兵車ノ緊急研究ヲ命ゼラル

二、装甲兵車設計主要條件

装甲兵車設計ニ際シ考慮セル主要條件左ノ如シ

- (1)、輕易ナル装甲ヲ施シ(甲)歩兵一分隊及其兵器材料ヲ搭載シ得、乘下車容易ニシテ戦斗ニ便ナルコト、
- (2)、輕快ニシテ戦場ニ於ケル各種地形ニ於テ戦車ノ前進ニ追隨シ得ル運動能力ヲ有シ且機動性ノ發揮ニ優レア

0575

ルコト

(3)

構造簡單取扱ヒ操縦容易ニシテ成ルベク戦車ト共通

部品ヲ有スルコト

三、研究経過ノ概要

ハ 全装軌装甲兵車(ホキ車)

昭和十六年略研究ヲ完了セル試製一式装軌貨車ノ荷挺部ヲ延長シ装甲ヲ施シ応急的ニ整備セラレツツアリ、因ニ試製一式装軌貨車ノ研究ハ陸軍自動車学校ニ於テ始マリ、昭和十三年陸軍技術本部ニ審査ヲ命セラレ爾後幾多ノ試験改修ヲ經テ昭和十六年略研究ヲ終了セルモノナリ、

2. 半装軌装甲兵車(ホハ車)

昭和十七年一月研究ヲ開始シ同野重工業会社ニ於テハ輛ヲ試作、昭和十八年一月以來試験ノ上研究改修ヲ行ヒ

0576

四

三月末全装軌装甲兵車ト、比較試験ヲ実施シタル後歩
戦騎砲工兵学校ニ実用試験ヲ依託セラレ更ニ其ノ結果
ヲ参照シ一部ノ車輛ニ最後ノ改修ヲ実施シ試験中ナ
リ、試験車輛ノ竣工以來走行セル最大距離ハ約三千料
ニシテ試車ハ目下機甲整備学校ニ整備上ハ実用試験ヲ
依託中ニシテ分解調査ノ結果ナルヲ陷ナシ、
構造機能

八 全般ノ構造

両車共研究線トシテ車輛ノ構造ヲ簡易ナラシメ運動
ヲ輕快ナラシムル爲車輛ノ重量ヲ六噸半内外一〇。或
六噸尙發動機ヲ裝シ待延ノ長ヲ八少々モ三米トシ積載
量ニ應ジ得トス、
面装甲兵車ノ外觀、主眼諸元附圖第一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、
一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、

0577

帶等同一ニシテ其細部ハ附表第二ノ如シ

2. 全裝軌裝甲兵車

車輛全般ノ構造ハ一般裝甲車ト同様ニシテ據向ハ發動機ト制動機トヲ併用スル方式ナリ。本車ハ荷重面積ヲ大ナラシムル急發動機ヲ右前方ニオキ後輪起動トシ伝動裝置、無限軌道部等ノ上ニ荷重ヲ配置セリ。之ヲ爲懸架裝置及床、高サ等ニ犠牲ヲ拂ヒアルヲ以テ能力ニ影響ス。特ニ現用ノモノハ荷重ヲ車台ノ後方ニ延長セル爲後方転輪ノ負担大ナル欠陥アリ。荷重ハ床面ノ高サハ地上約九〇釐、長サ三米、一人ノ充當座巾ハ約五〇釐ニシテ歩兵重火器ノ搭載可能ナリ。裝甲ハ六釐ニシテ避彈徑始トナス。

3. 半裝軌裝甲兵車

荷重面積ヲ大ナラシムル爲車長ヲ増大スルト共ニ車輛

0578

五、

ノ方向操縦ニ供スル爲車輛ノ前端ニ車輪ヲ附スルモ不
齊地ニ於ケル運動性ヲ良好ナラシムル爲努メテ接地長
ヲ増大セル無限軌道ヲ有スル半裝軌ニシテ動力配置一
般ノ結構ハ裝輪車ニ類似シ横軸ニハ二重差動機及ビ操
向制動機ヲ有シ起動裝置ハ後輪起動ニシテ無限軌道懸
架樣式ハ一般裝軌車ト同様ナリ、前輪ハ獨立懸架方式
ニシテ操向機其他ハ一般裝輪車ト同様ニシテ一式自動貨
車ノ部品ヲ使用セリ、荷框ハ床面ノ高サ地上約七〇釐
長サ約三米五〇ニシテ一人ノ座巾約六〇釐、步兵重火器
ノ搭載可能ナリ、裝甲ハ運転手席ノ前面、側面ハ一〇釐
其他六釐ニシテ避彈徑始ヲ十ス、
機動及運動性能上ヨリ見タル兩車ノ比較、

兩車共裝甲兵車トシテ性能概ネ良好ニシテ實用シ得ルヲ
認ムルニ各特質アリ、其ノ細目ニ亘ル特徴ハ以下記述スル

六、

0579

トコロノ如シ然レ共全装軌式ハ研究完成近キニ及シ半装軌式車輛ニツキテハ研究未ダ浅キヲ以テ将来ノ研究ニヨリ性能向上ノ余地アルモノト認ム

一般機動性

(半装軌)

(全装軌)

各種地形ヲ含ミ長途機

半装軌ニ稍劣ル

動能力ノ發揮ニ適ス
一般不齊地ノ運動ニ支障ナシ

半装軌燃料消費量少シ

燃料消費量	一時尙平均	一立当走行距離平均
半装軌	一二、六立	二、〇九料
全装軌	一三、五立	一、八二料

局地形運動性

(半装軌)

(全装軌)

(半装軌)

(全装軌)

(半装軌)

0580

新工物堅固性能(半)

表

(軌)

(全)

表

(軌)

各種不良地、不齊地、運動性良好ニシテ概不戦車ト行動ヲ共ニシ得ルモノ前輪ト履帶後部、西点ニテ支持ヲ受クル如キ寸度ノ波狀地形ニ於テ運動不能ニ陥ルストアリ、車輪及履帶が約三ノ種ヲ限ストシ陥没スル湿地ニ於テハ通過不能トナル

壕ノ超越性能優シ小工事等ハ拘束ヲ受クルコ

各種地形土質ニ於テ運動性概不戦車ト同様ニシテ之ト概不行動ヲ共ニシ得、然レドモ車輛ノ震動大ニシテ充分ナル速度ヲ發揮シ得ガルコトアリ、

壕ノ通過能力劣リ其他ハ大變ナシ

0581

旋回性能

トナリ堤塘類之相当ノ
超越能力アリ、彈痕地帯
ノ通過支障ナシ、
堤堰ノ高サ全装軌式ト
略同等ナリ、

滾超越能力

半装軌	二〇〇米容易	二五〇米通過
全装軌	二〇〇米卒通過	不能
鉄條網通過ハ未実験ナリ、		

(半装軌)

定半径以上ノ回轉ヲナ
シ得ルニ止ル

最小回轉半径ハ土
質ニ依リ若干異ル

(全装軌)

信地旋回及任意半径
ノ旋回ヲナシ得

0582

モ五、七〇米乃至六
 〇〇米ナリ、約九、〇
 米(車長ノ一、五倍)路
 上ニテ二回ノ切返
 シニ依リ反転スル
 コトヲ得

六、操縦及取扱上ヨリ見タル両車ノ比較

習熟スレバ操縦性ニ差異ナキモ半装軌式ハ習熟容易且疲
 勞少ク大衆的車輛ノ性質ヲ帶ビ取扱亦之ニ類ス

操縦 (半装軌)

自動車操縦ノ経験者ヨ
 リ養成スルヲ便トシ教
 育上ノ利便ヲ有ス

(全装軌)

戦車ト同様ニシテ特
 殊教育ニ属ス

0583

疲

勞

(半

裝

軌)

(全

裝

軌)

震動少ク且軟和シテ操
縦者及乗員ノ疲労小ナ
リ、

半裝軌ニ及ス

取

扱

(半

裝

軌)

(全

裝

軌)

操縦機構ノ調整部位少
ク又其取扱簡單ニシテ
大衆的ナリ、

半裝軌ニ比シ多少煩
雜ナリ、

半裝軌ハ差動制動帶ノ調整ノミニシテ一
般自動車ト異ルコトナキモ全裝軌ニ於

0584

テハ聯動機及之ニ内聯スル制動機ノ調整
ニ相当技術ヲ要シ、又其煩度多キ欠陥アリ、
構造上止ムヲ得サルトコトス、

七、構造及機能上ヨリ見タル兩車ノ比較

兩車共各部ノ機能堅牢度概不良好ニシテ、兵車トシテ一分
隊ノ搭載可能數ヲ突用ニ供シ得ルモノト認ムルモ、^機構的ニ
觀ルトキハ半裝軌式有利ニシテ、本車々台ヲ他ノ用途ニ利
用スル場合モ亦半裝軌式ヲ有利トハル場合多カルベシ、

構造一般

(半

裝

軌)

(全

裝

軌)

全裝軌式ト重量懸不同、床面積増加ノ爲荷重
一ナルモ全長ニ於テ長ヲ車台後方ニ突出セ
ク有効床面積広ク且床^ルモ尙広サ充分ナラ
ズ、且之ガ爲後方転輪

機

能

半行動ニ便ナリ

(半

装

軌)

ハ大ナル荷重ヲ受ケ
アリ

(全

装

軌)

地面ニ対シニ点支持ノ

半装軌式ニ及ス、特ニ

形式トナリ、前輪ハ接地

高速度ニ於ケル方向

転動セルヲ以テ路上運

変換ニ際シ横滑リヲ

行ノ際方向変換ニ当リ

生ジ易シ

車輛ノ横滑リノ虞レ少

ク、行進間ノ車輛ノ安定

良好ナリ、

不齊地通過ノ際ニ於ケ

ル車輛ノ震動小ナルヲ

以テ特ニ精密器材、危険

品ノ保全ニ適シ、簡

0586

堅牢性

易ノ利ヲ有ス

(半 装 軌)

前輪ノ物作畫突ニ依リ
之ガ懸架機構ニ衰損ヲ
生ズルコトアリ

防護機ヲ附シ概ネ

其害ヲ除去シアル

モ尙目下其ノ懸架

法ノ改良ニ関シ一

案研究中ナリ

ハ製造上ヨリ見タル両車ノ比較

全重量概ニ同様ナルヲ以テ所要材料ハ大差ナキモノト認

定ス、部品点数概ニ同等ニシテ作業上特ニ難易ヲ認めザ

ルモ半装軌ニ於テハ前輪機構部品ニ鍛造品ヲ多少増加ス

13

(全 装 軌)

操向联动制動機ニ於
ケル制動機ノ衰損ヲ
生ズル欠点アリ

0587

ルモノトス、
全装軌ハ車台ノ一部ニ防弾鋼板ヲ使用シアルヲ以テ之が
製造ト組立トノ一貫性ニ齟齬ヲ生ジ易キ欠陥アリ、

14.

0588

附表第一

試製裝甲兵車諸元表

試製裝甲兵車諸元表		区分	自重	全長	全幅	全高	最低部地上高	履帶接地長	履帶幅	轆間距離	重心位置	前輪荷重	裝甲前面	板厚側面
		試製式裝甲兵車(小車)	六吨七〇〇	四米九〇〇	二米三〇〇	二米一〇〇	〇米三五〇	二米七五〇	〇米二五〇	一米九三〇	起動輪中心ヨリ前方 二米〇五〇(空車、時)	前輪中心ヨリ前方 二米二五〇(空車、時)	六	六
		試製式裝甲兵車(大車)	六吨四〇〇	六米一〇〇	二米〇五〇	一米九五〇	〇米三三〇	二米二五〇	〇米二五〇	一米七九〇	前輪中心ヨリ後方 二米二五〇(空車、時)		六	六
		摘要						履帶八両車共通						

0589

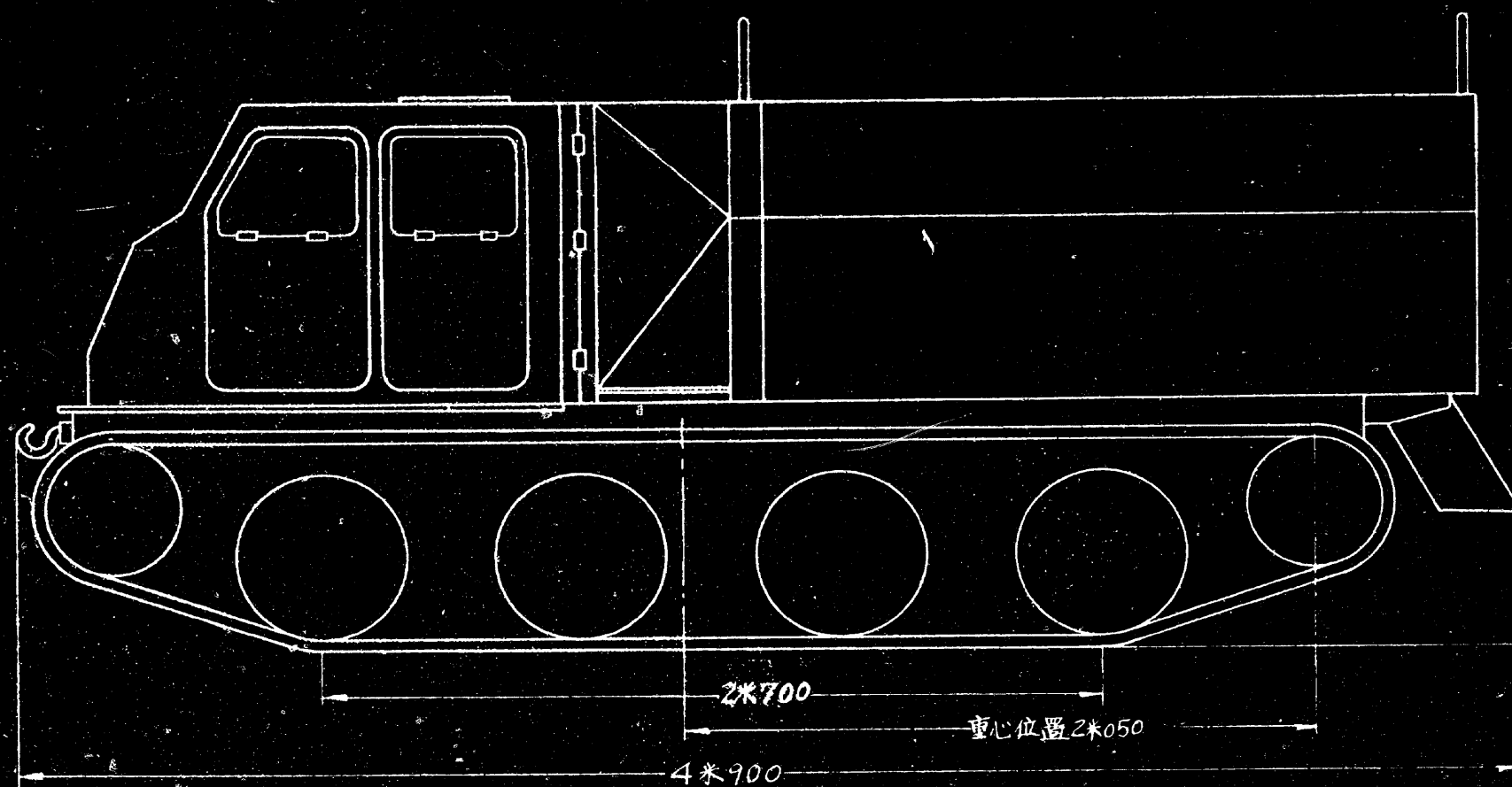
試製裝甲兵車構造一覽表		動力装置			各部名	動力機
正齒車一段	終減速装置	其、他	变速機	依主聯動機		
正齒車一段	乾多板式聯動制動機	自在接子ノ三共通	前進四段後退一段常啖選擇式(齒車ノ三共通)	乾多板式 (聯動機室ノ三異ニス)	ホキ車	一〇〇式水冷直六シリンダー式動力機
正齒車一段	二重差動機ト制動機				ホハ車	
ホキ車ハ減速齒車ハ九八式輕戰車及二式輕戰車ニ同ジ	ホキ車ハ九八式輕牽引車ニ同ジ	自在接子ハ九六高射砲牽引車十字軸ハ九八式輕戰車ニ同ジ	齒車ハ九八式輕戰車ニ同ジ	九八式輕牽引車ニ同ジ	摘	二式輕戰車ニ同ジ

0591

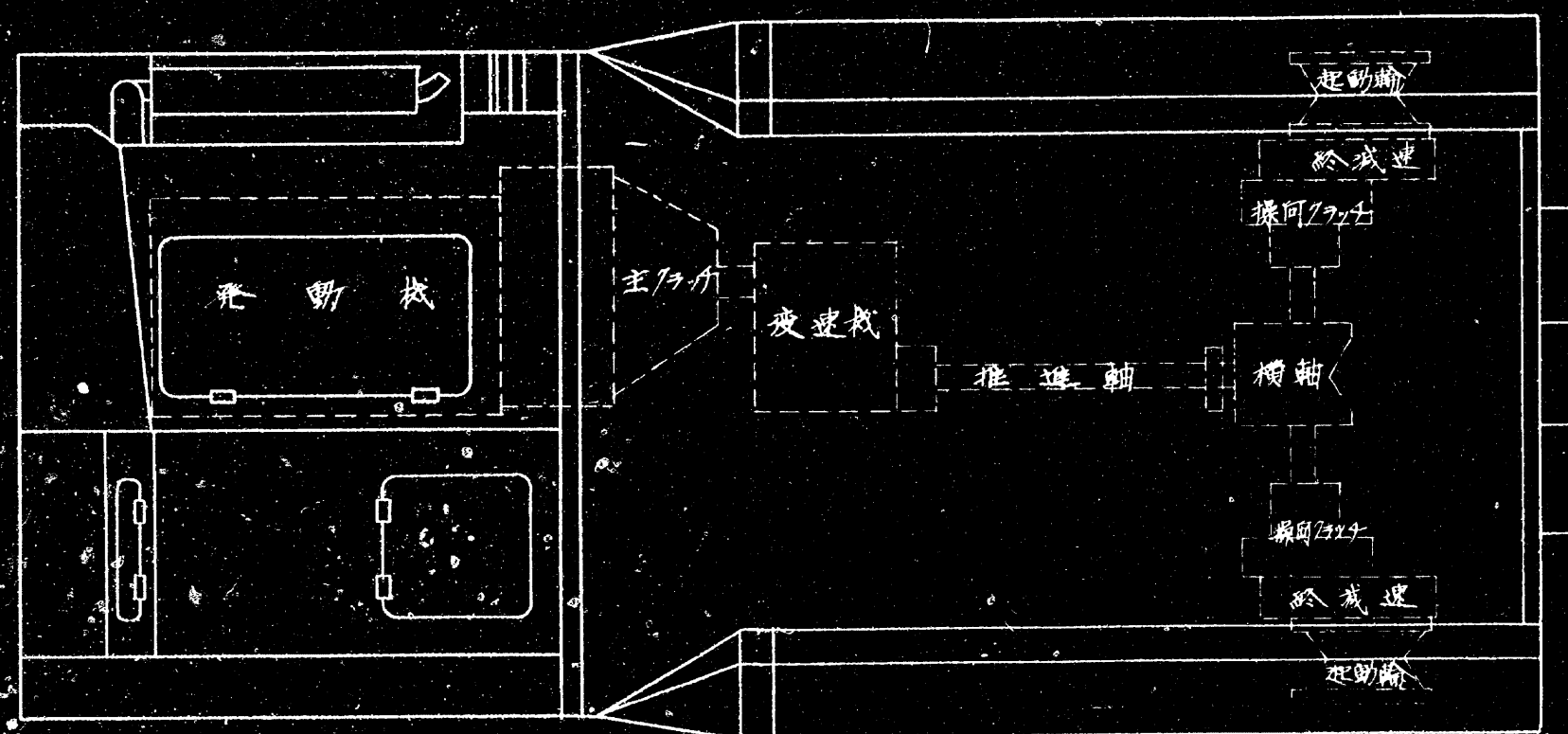
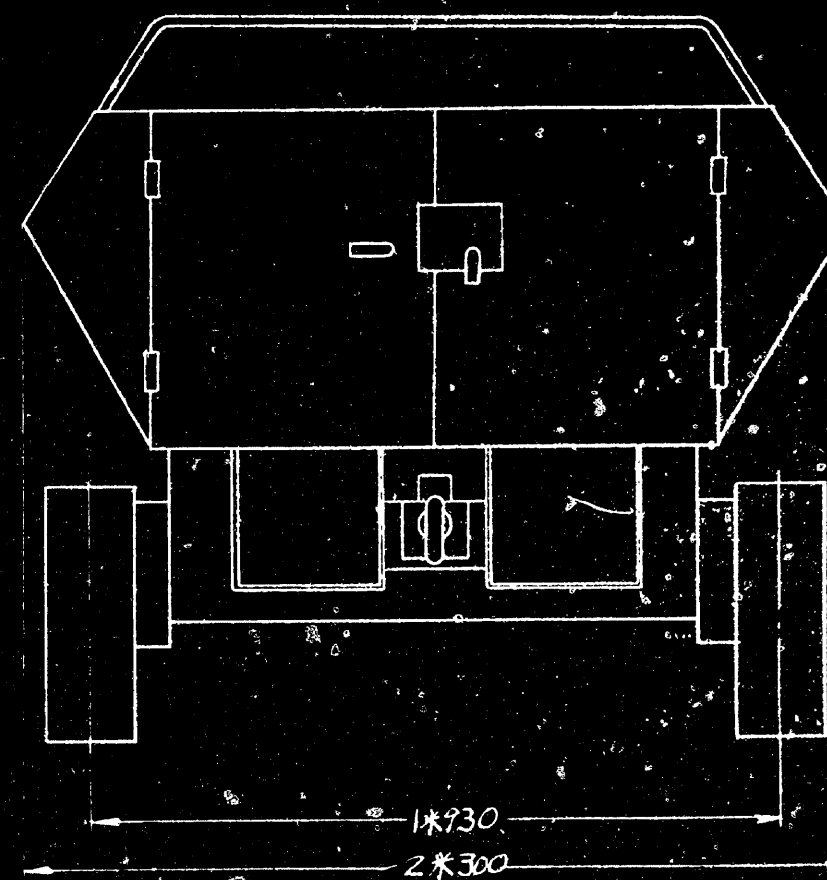
走行様式	操縦装置	前車輪	履板	下部転輪	上部転輪	誘導輪	懸架装置
全長机後方起動	操向横桿式		巾二五〇花四寸七五枚 総数 一二六枚	中五七〇花 タイヤ交換 四ヶ	九八式輕牽引車ニ同ジ		蔓巻ばね 独立懸架式
半装軌後方起動	操向転把ト 操向横桿併用式	防弾タイヤ附 (5.5×9)	総数 一二六枚		九八式輕戦車ニ同ジ	(前輪) 蔓巻ばね独立懸架 (履帯部) 蔓巻ばね相互同様式	
	ホハ車ノ操向転把ヨリ操向荷 向桿マデハ九四式六輪自動 貨車ニ同ジ	ホハ車ノタイヤハ一〇〇式 鐵道牽引車ニ同ジ	九八式輕戦車 ニ式輕戦車ニ同ジ			ホキ車ノばねハ九八式四懸 牽引車ニ同ジ ホハ車ノ後部ばねハ ニ式輕戦車、九八式輕戦車 ニ同ジ	

0592

試製一式装甲兵車(ホキ車)

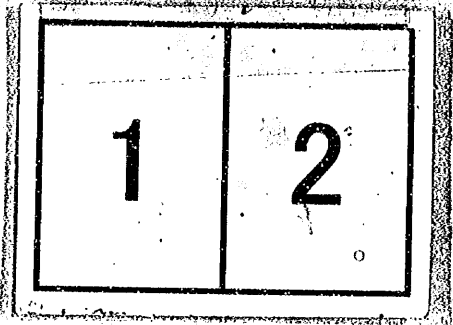


2米100



0593

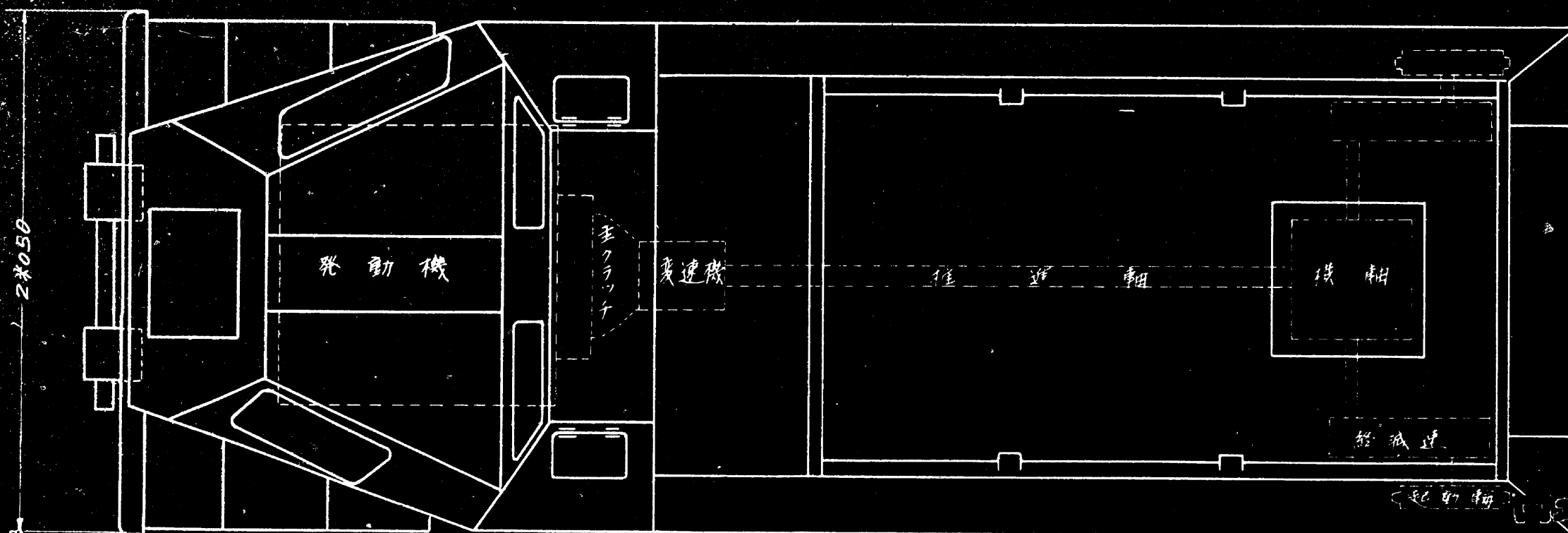
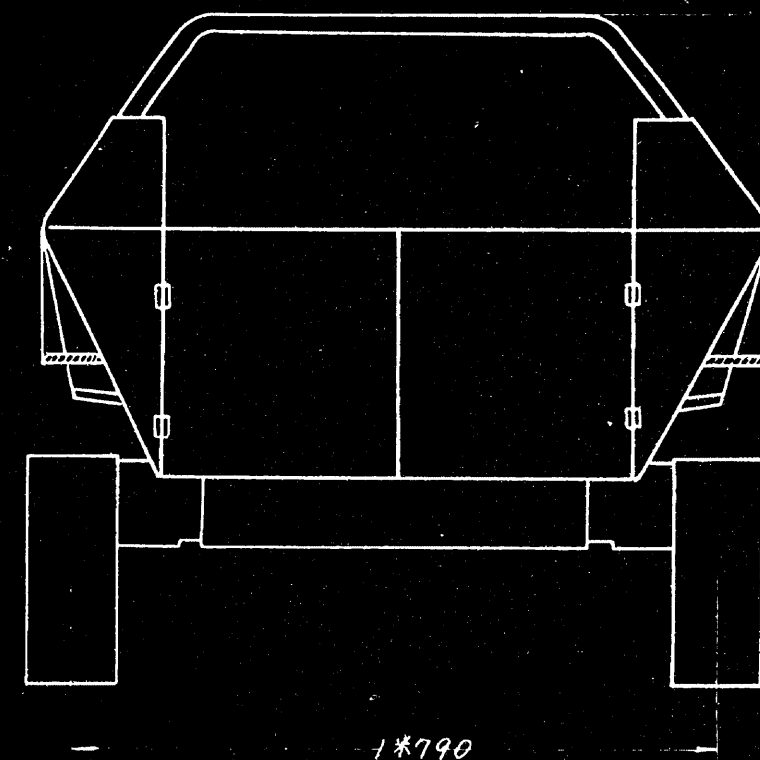
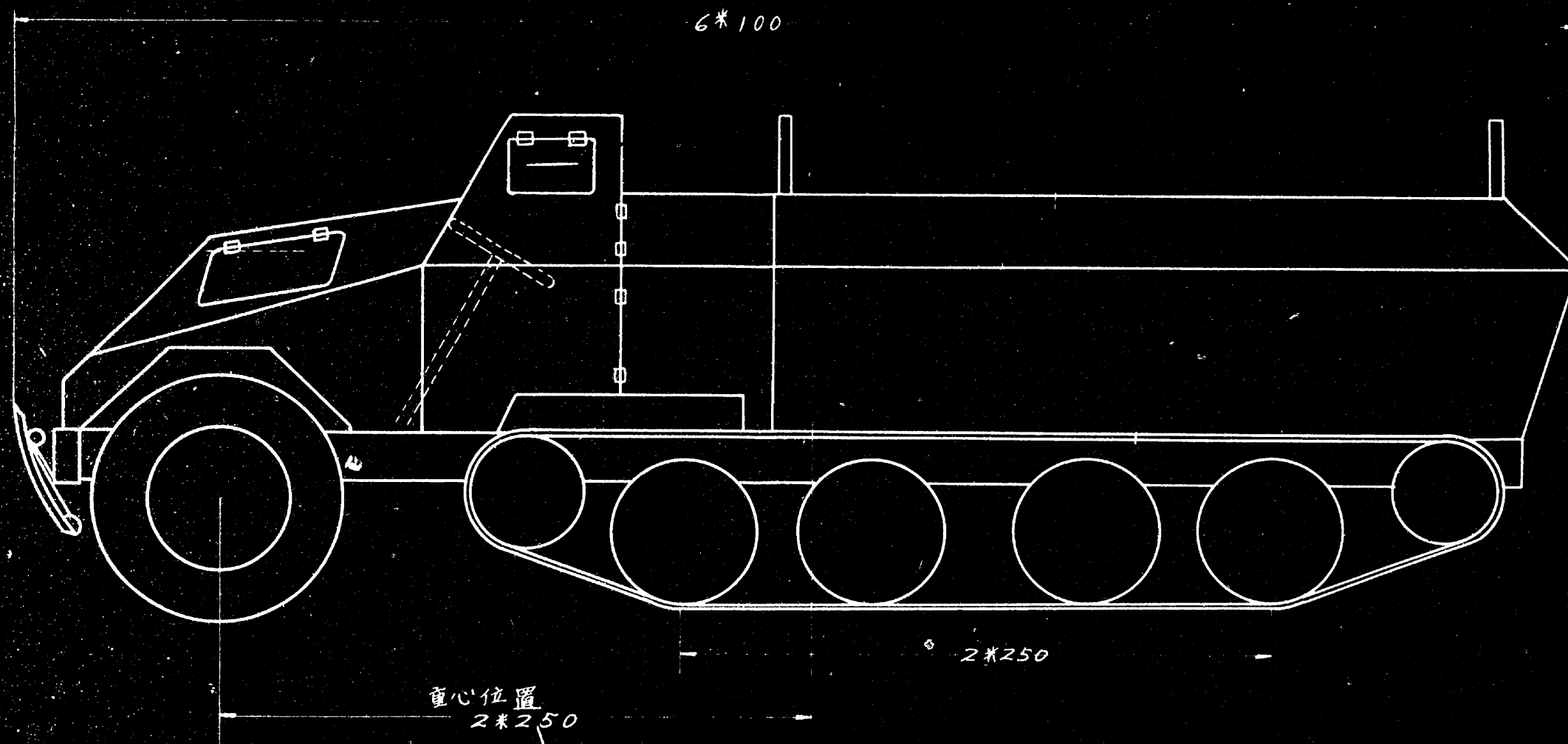
分割撮影ターゲット

分割した 部 分 の 撮 影 順 序	
分割撮影 した理由	A 3 版以上のため
文 書 等 名	試製半装軌装甲兵車(ハ車)
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

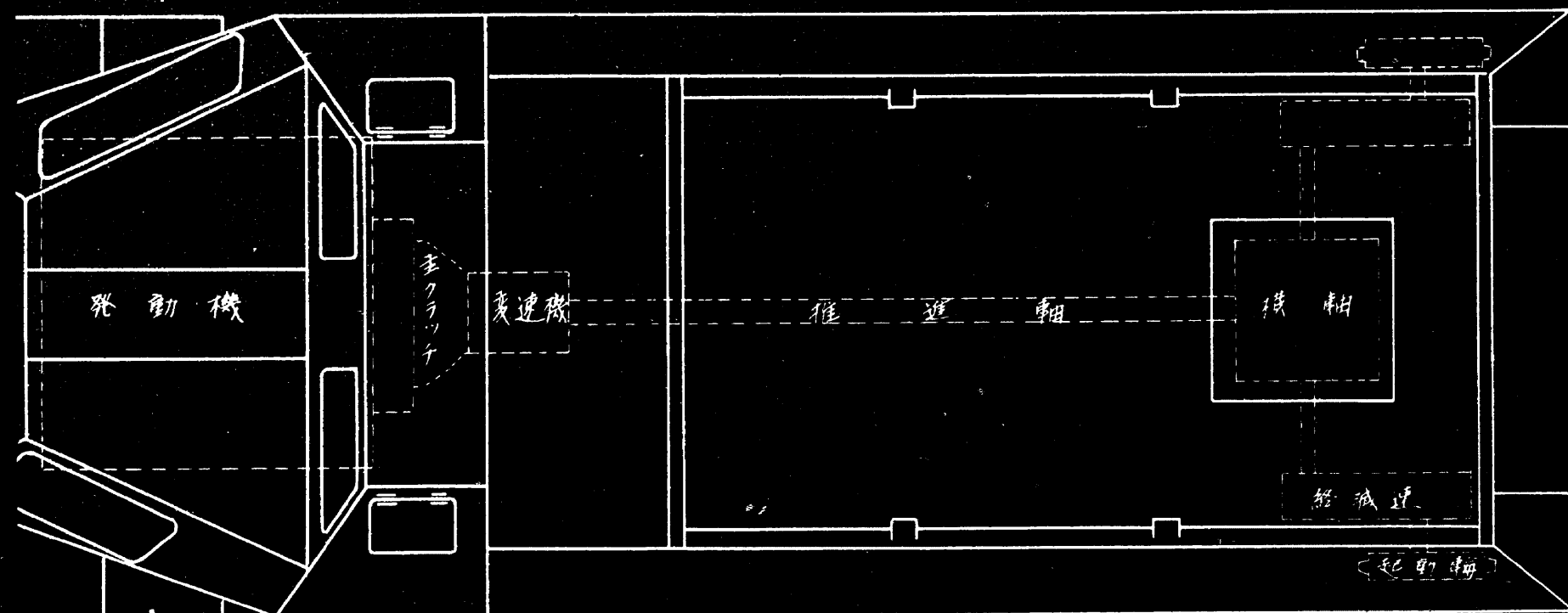
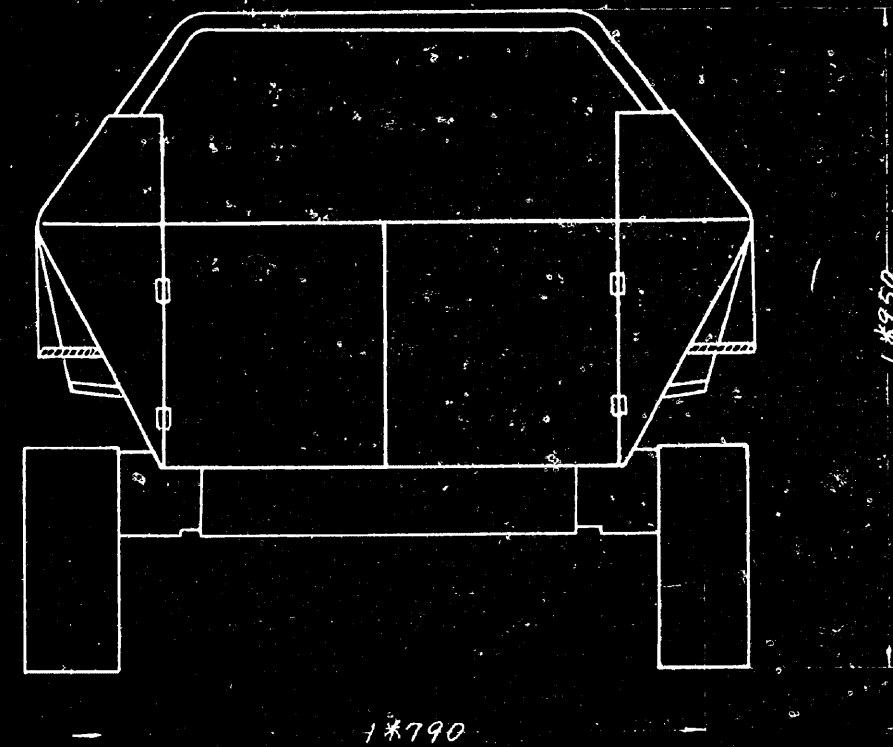
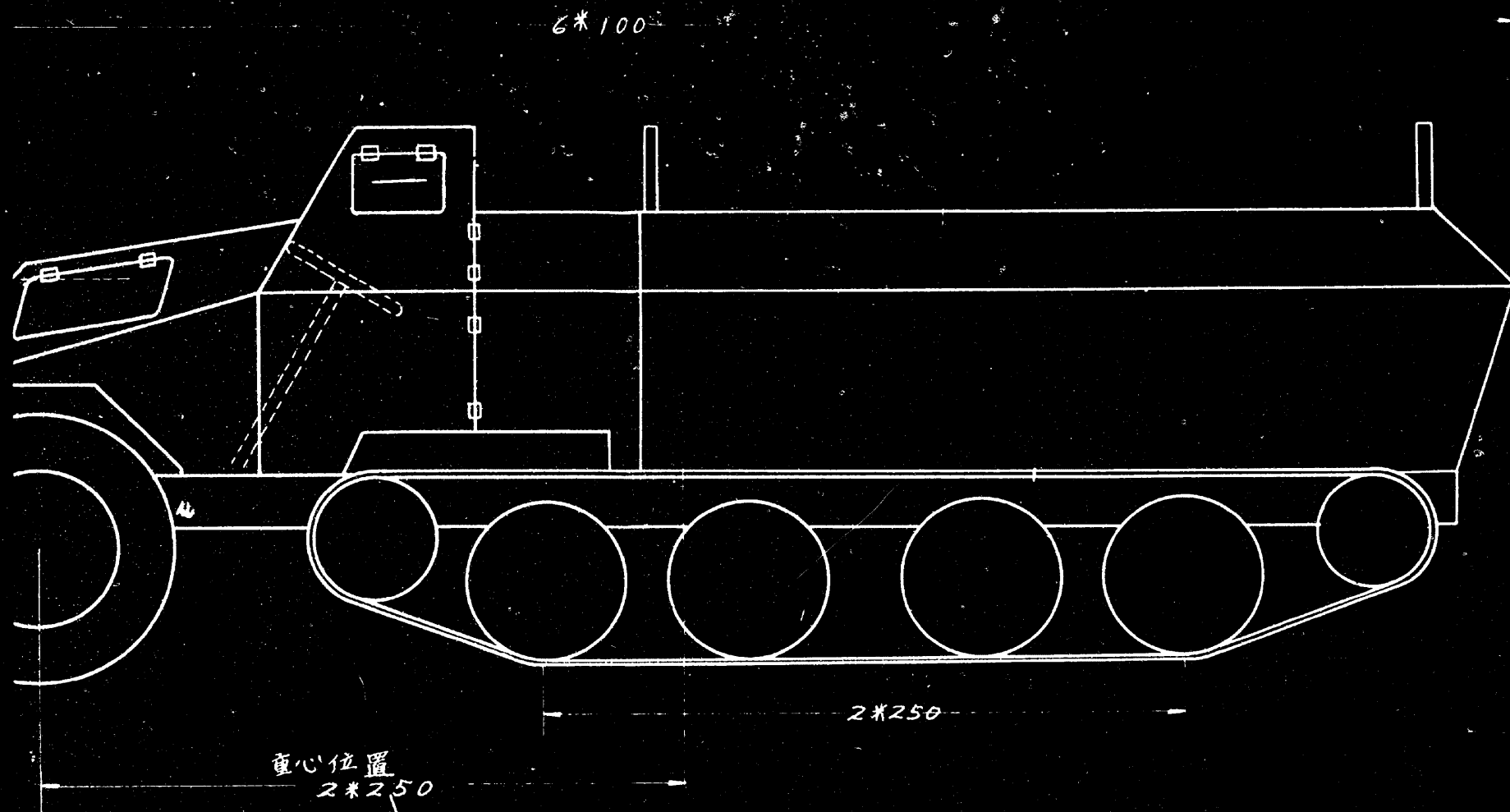
0594

0595

試製半装軌装甲兵車(小八車)



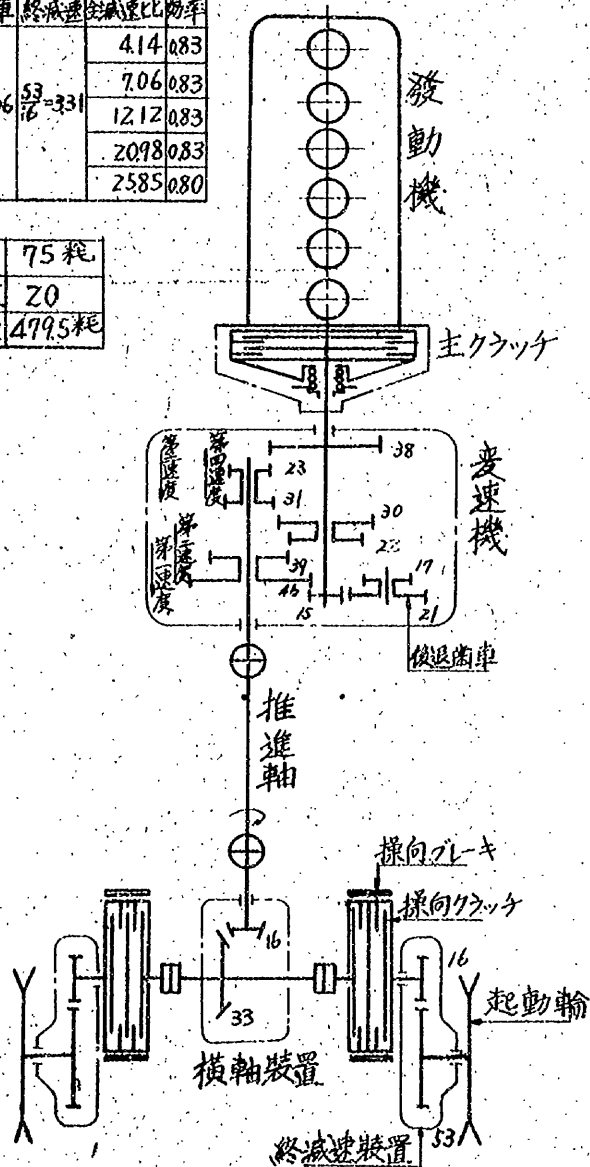
試製半装軌装甲兵車(水八車)



「ホキ」車 動力系統図

変速機	比率	傘歯車	終減速	全減速比	効率
IV $\frac{23}{38} = 0.605$	1.71			4.14	0.83
III $\frac{31}{30} = 1.033$	1.71	$\frac{33}{16} = 2.06$	$\frac{53}{16} = 3.31$	7.06	0.83
II $\frac{39}{22} = 1.772$	1.13			12.12	0.83
I $\frac{46}{15} = 3.07$				20.98	0.83
R $\frac{21 \times 46}{16 \times 17} = 3.788$				25.85	0.80

履板ピッチ	75 耗
スプロケット歯数	20
スプロケット P.C.D.	479.5 耗



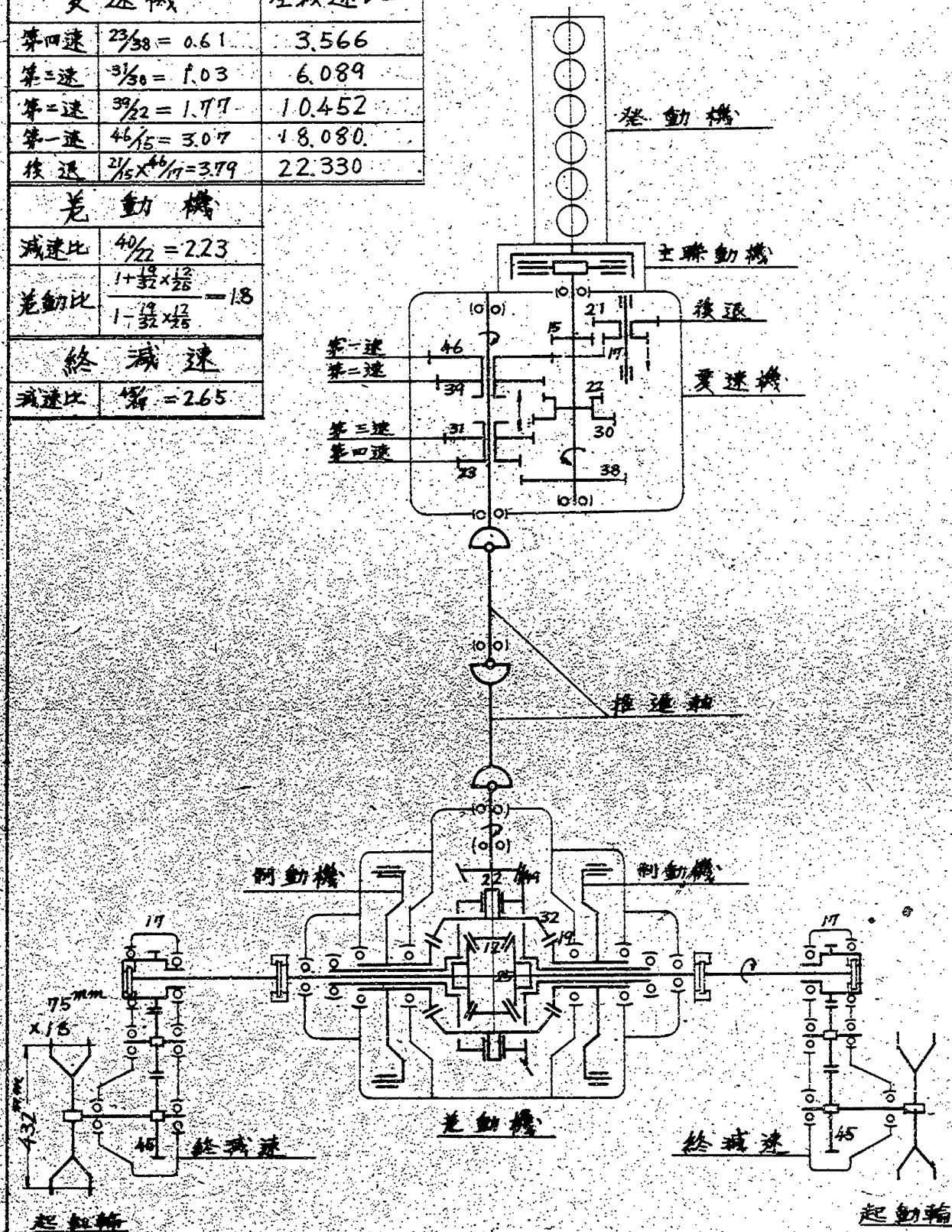
0596

「水」車 傳動配置要領図

変速機	全減速比
第四速 $\frac{23}{38} = 0.61$	3.566
第三速 $\frac{31}{30} = 1.03$	6.089
第二速 $\frac{39}{22} = 1.77$	10.452
第一速 $\frac{46}{15} = 3.07$	18.080
後退 $\frac{21}{15} \times \frac{46}{17} = 3.79$	22.330

差動機
減速比 $\frac{40}{22} = 2.23$
差動比 $\frac{1 + \frac{19}{32} \times \frac{12}{25}}{1 - \frac{19}{32} \times \frac{12}{25}} = 1.8$

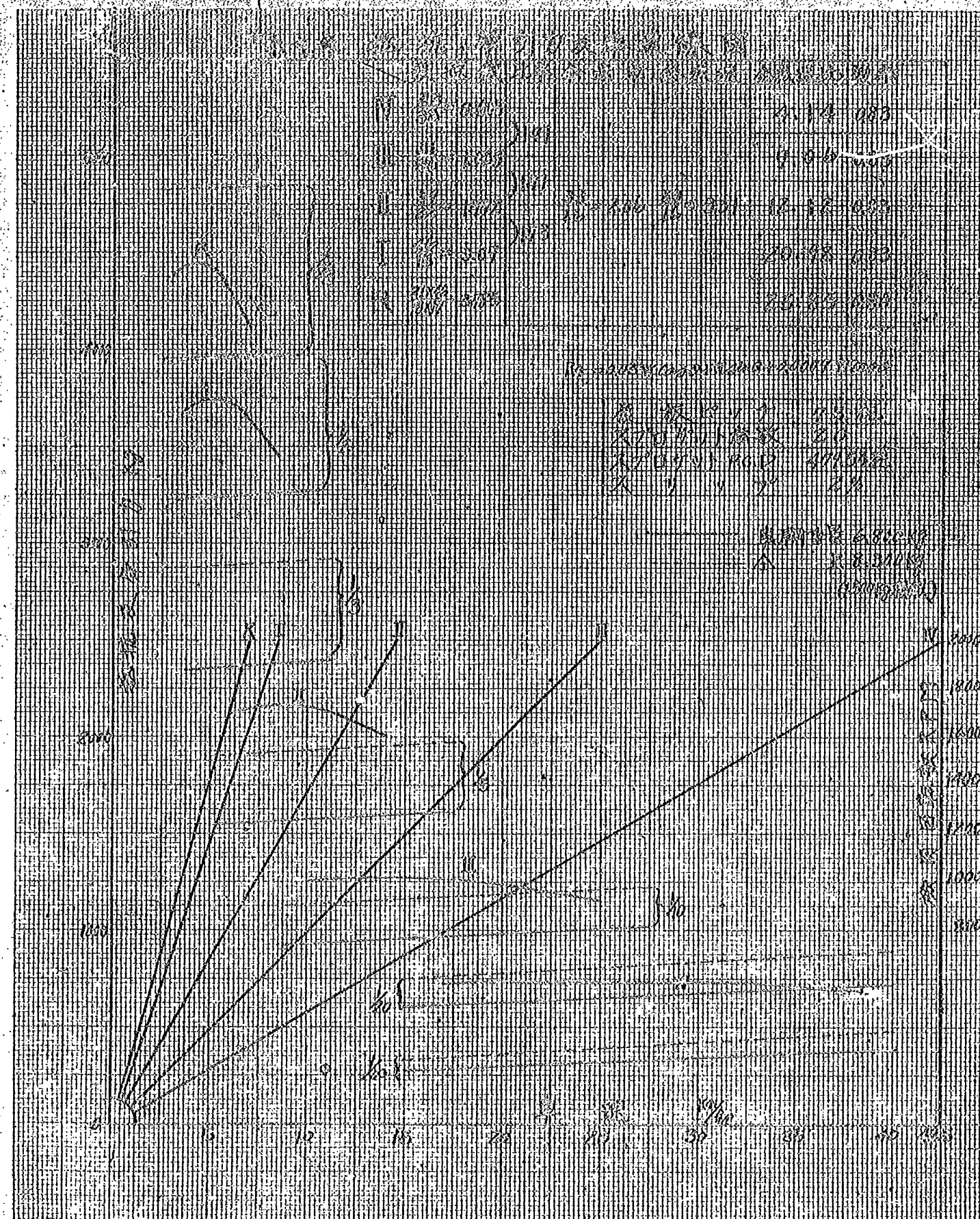
終減速
減速比 $\frac{45}{17} = 2.65$



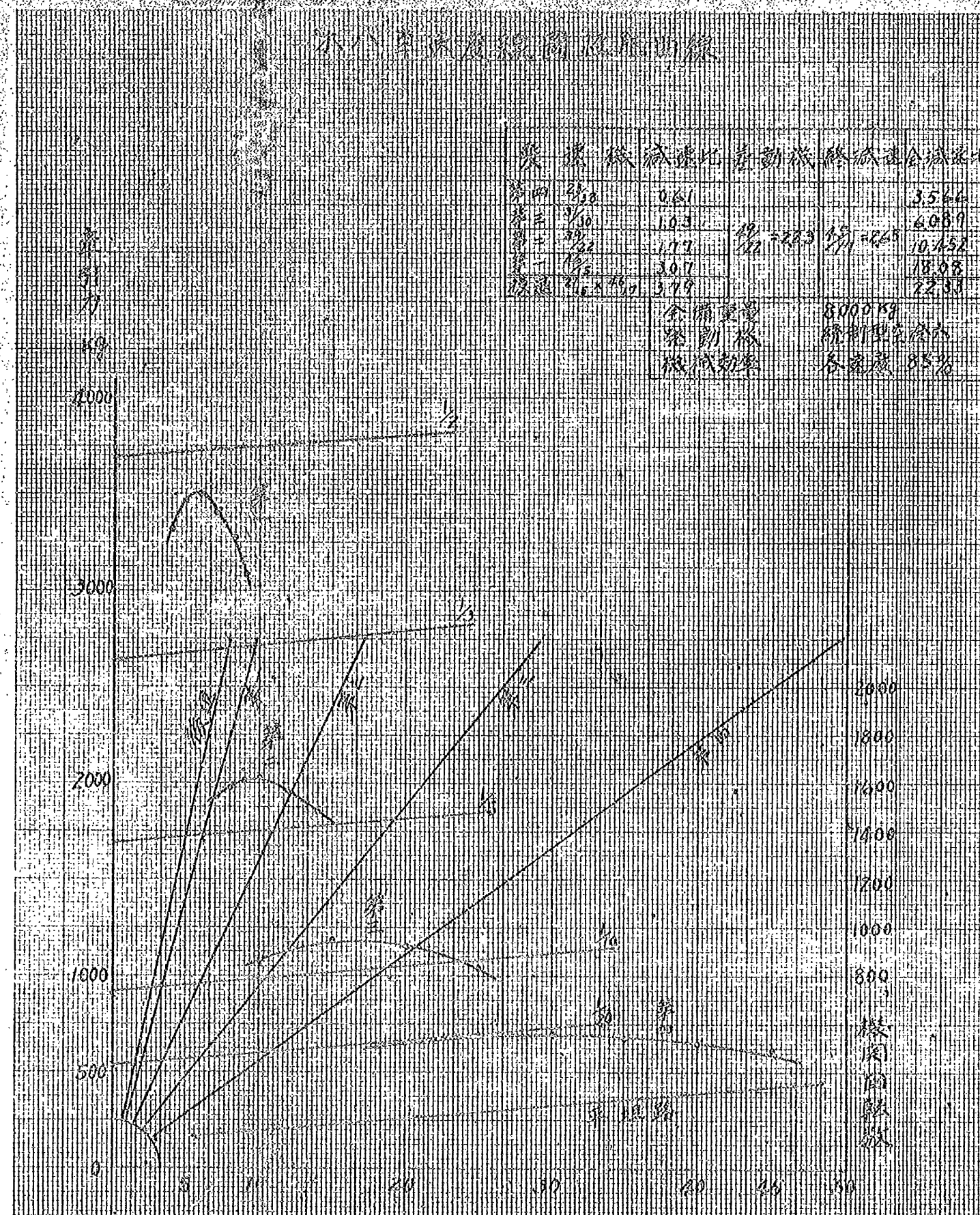
註 図中ノ数字ハ齒數ヲ示ス

第四陸軍技術研究所

昭和18年4月28日



0593



軍事秘密

(規則第七十一條適用)

用済後焼却

銃甲兵車概説附録

参 考 各 種 車 輛

(附半装軌車輛ニ就テ)

昭和十八年六月十二日
第四陸軍技術研究所

紙 数 拾 貳 枚

0600

一、試製半裝軌鐵甲兵車（九式牽引自動車ヲ改造セルモノ）諸元表

力能		厚板甲裝		法		寸		自	區						
最小回車半径	超壕中	登坂能力	最大速度	運轉台	側面	前面	轍間距離	履帶巾	履帶接地長	最低部地上高	全高	全巾	全長	重	諸元
約七六〇〇〇（前輪内側）	約一六五〇〇	約一五（一五匹馬力）	四五海里	六兆	六兆	八兆	一六五五〇	〇米二〇〇	一六六五〇	〇米三三五	二米二〇〇	二米〇〇〇	六米〇〇〇	七兆二八〇	元
走行様式		傳動裝置		燃力		燃料槽容量		乘車人員	力標準積載量	能通行能力	區				
半裝軌前方起動	二直差動機下側動機	前進四段 後退一段	軟多板式	二一〇馬力（毎分一七〇〇回轉）	九五馬力（毎分一三〇〇回轉）	直列六氣筒水冷縦列型	一九〇立	一五名	一兆五〇〇	約一五時間	諸元				

一、試製半裝軌機甲兵車（九式牽引自動車改造機）諸元表

0601

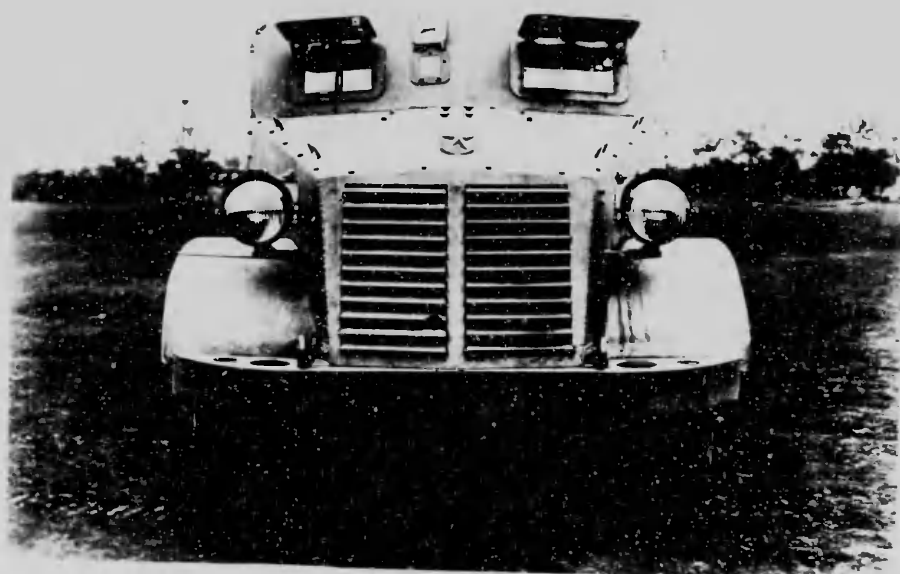
試製機械化歩兵車

前 面



0603

0604



0603

0604

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

車 兵 歩 化 機 機 製 試
面 側

5090
0606



国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

0605
0606



三、試製中世製軌貨車設計諸元表

三、試製中、型軌貨車設計諸元表																																							
能		速		荷		水		軟		履		履		最		部		上		高		全		合		自		重		式		區		分		諸		元	
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高		高		高		長		重		式		式		式		式		式			
力		度		框		密		間		荷		地		上		高		高																					

0607

四 押収米國製七輕半自走砲車台諸元表

裝甲板厚		法		寸				量		重		型	區		
側面	前面	履帶巾	接地長	重心位置	最低地上高	全高	全巾	全長	履帶負荷重	前輪負荷重	自重	式	分		
六、三五五	一、三五五	〇米三〇〇	一米二一〇	起動輪中心ヨリ前方 〇米一二〇	〇米二三五	二米二七五	二米一七〇	六米一五〇	四噸九九〇（「」）	二噸三九〇（砲搭載ノトキ）	六噸〇八〇（車台ノミ） 七噸三六五（砲搭載ノトキ）	半裝軌前輪駆動式	諸元		
												元			
												區			
機動				燃		能						分			
燃料消費量		最大出力		氣筒		行程	直徑	型式	燃料槽容量	登坂能力	越壕巾	牽引能力	制動能力	最小回轉半径	最大速度
〇、三五六リ/時（馬力） （一〇〇〇回轉ノ時）		一〇四馬力（毎分 二、六〇〇回轉）		五吋八分ノ一		四吋	水冷式蒸氣機 ボワイヤ止動	二、三〇五	約一ノ二	一米五〇〇	五噸	（附速三三リ制動セシメタル場合） 一〇米六〇〇		九米一〇〇（前輪中心）	六〇リ/時
															諸元
															元

四、押収米國製七糧半自走砲車台諸元表

0608

米 国 製 七 種 半 自 走 砲
前 面



0609

0610

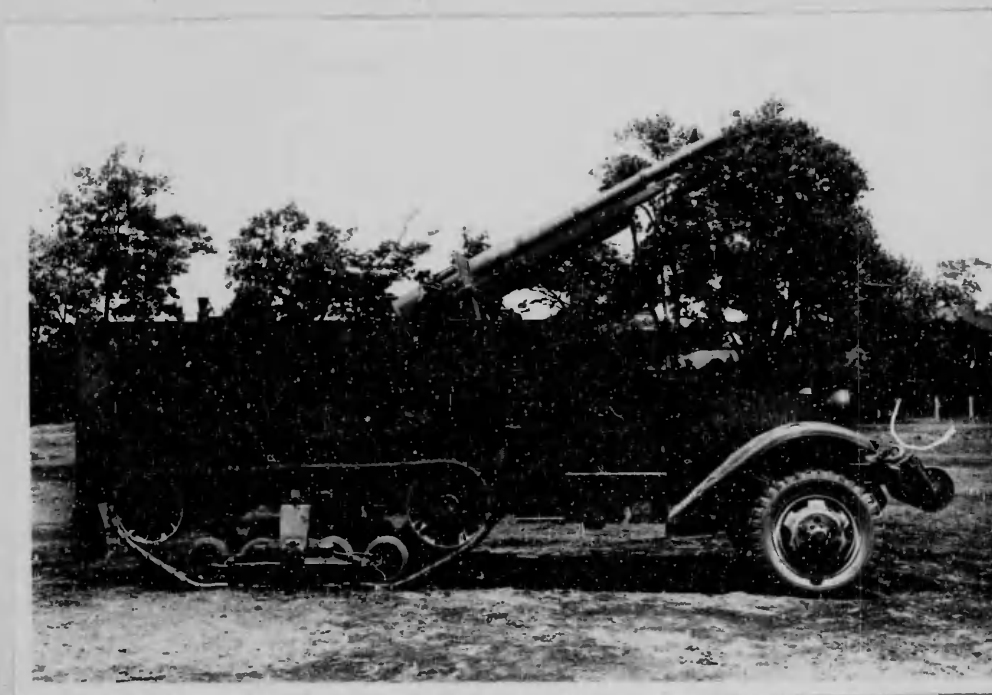


0603

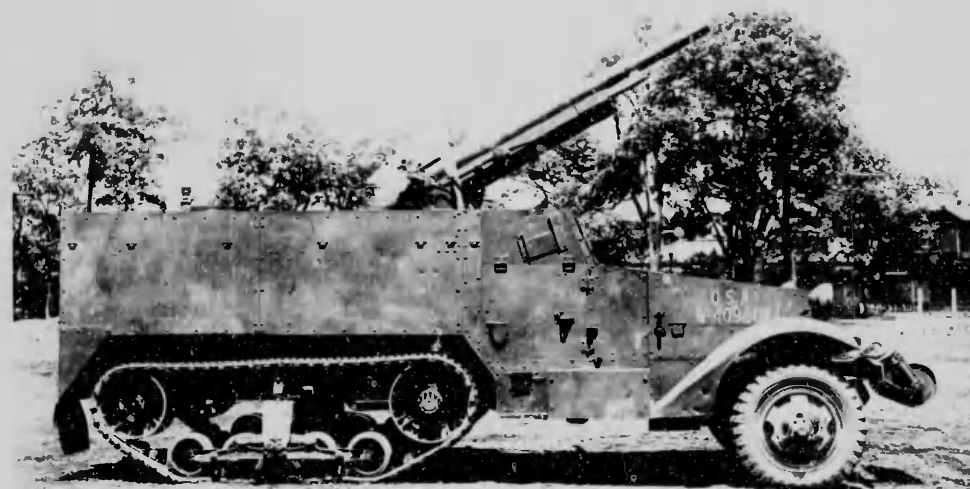
0610

米 国 製 七 挺 半 自 走 砲
側 面

0611
0612



0611
T190
0612



能力	機 動 機			寸 法			全 備 重 量	自 重	區 分 額 元	
	最 大 速 度	馬 力	式	全 高	全 巾	全 長				
	五〇秒時	一五馬力	ガソリンエンジン	二米二三〇	二米二六〇	六米〇〇〇	八〇二〇〇	六〇七〇〇		
		乗 車 人 員	能 力					登 坂 能 力	區 分 額 元	
			牽 引 力	積 載 量	行 動 範 囲	徒 渉 水 深	超 壕 幅			
		一五名	標準五馬力	一〇五〇〇		〇米五〇〇	一米七五〇	牽引 單車		
								二弱		

五、独逸五馬力牽引車諸元表

0613

独 逸 五 挺 牽 引 車
斜 前 面

0614
0615

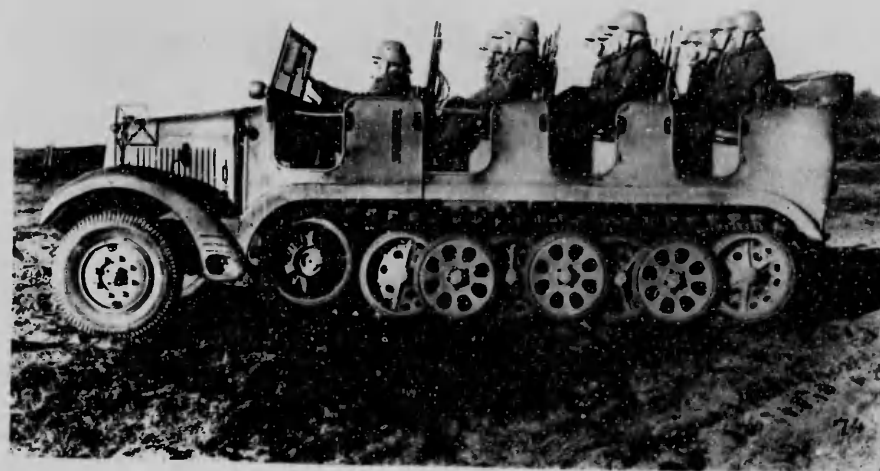


0614
0615

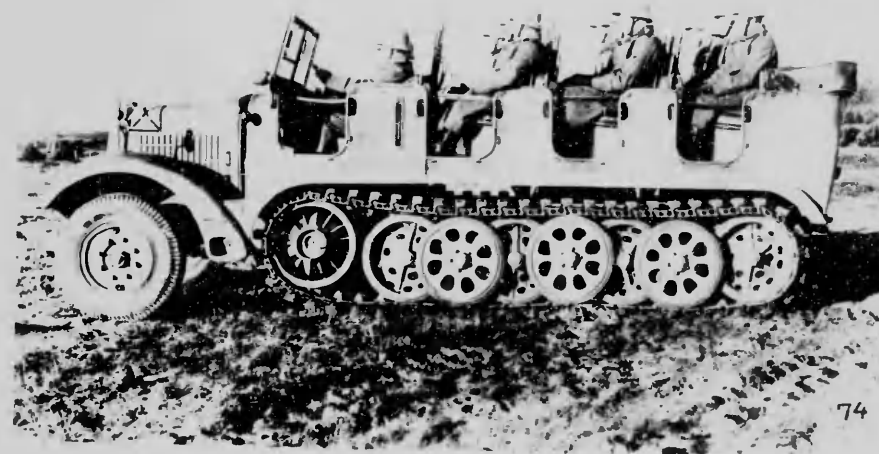


独逸五挺車
側面

0616
0617



0616
0617



半
装
軌
車
輛
二
就
テ

0618

一、緒言

半裝軌車輛ハ全裝軌ト裝軌式ノ合ノ子ニシテ何レニモ徹
底セザル遺憾不闡明ナル車輛トシテ一般ニ輕視セラレ國
軍ニ於テモ僅カニ高射砲牽引車トシテ若干研究セラレタ
ルニ過ヤザルモ裝軌車輛兩様ノ利害ヲ有シ害ニ屬スル欠
點ハ技術ノ進歩ニ伴ヒ遂次其程度迄削減シ利莫ク飛揚シ
得ルヲ以テ研究ノ価値アルモノト認ハ現在独逸、米國
ニ於テ半裝軌式車輛ヲ多數使用セラレアルハ周知ノ所ナ
リ

二、半裝軌式車輛ノ構造

一般ノ構造ハ裝軌自動車ニ類似シ差動機ハ通常ニ直差動
機トシ後方車輛ニ代ヘ無限軌道ヲ裝ス而シテ各程地形ノ
適應性ヲ増大スル為左ノ二ツノ型式アリ
ハ 前輪起動トスル方式

0619

半裝軌車輛ニ於テ後方無限軌道ヲ起動スル外前輪ヲモ
起動スル時ハ各種地形ノ踏破力ヲ著シク増大シ得特
ニ平滑ナル凍結路上等ニ於テ無限軌道ノ滑走ニ易キ場
合ノ起動力ハ全裝軌式ヨリ大ナリ然レドモ超壕能力
濕地通過性能ハ低下ヲ免ガレズ米國M3半裝軌車ハ此
ノ種ニ属ス

(2)

無限軌道部ヲ著シク延長セル式

半裝軌車輛ノ無限軌道部長クシ車輛重量ノ大部ヲ之ニ
負担セシメ全裝軌車輛ト同様ノ運動性能ヲ發揮セント
スルモノニシテ前輪ハ僅カニ一支柱トナシ操向ノ用ヲ
ナサシメ取扱操縱ヲ容易ナラシム英國ノモノハ此ノ
種ニシテ戦後半裝軌裝甲火車モ此ノ方式ニヨレリ
半裝軌車輛ノ利害

自重及積載量略々同等ニシテ同出力ノ發動機ヲ裝載スル

0620

モノトニテ全裝軌式ト比較シ半裝軌車輛ノ利害ヲ求ブレ
 バ次ノ如シ
 一、荷重面積ヲ増大スルコトヲ得
 二、操縱取扱ヒ容易ナリ
 三、車輛ノ震動少ク乗心地良好ナリ
 四、信地旋回不能ナルモ高速行走ニ於ケル車輛ノ安定良
 好ニシテ横滑リノ虞ナシ
 五、不斉地通過ニ際シ前輪ト履帶終端ノミニテ支ヘラル
 ル如キ地形ニ於テハ通過不能トナルコトアルモ壕ノ通
 過能力彈痕地ノ通過等ハ半裝軌ニ利アリ
 六、普通運行ニ於テ燃料消費量少シ
 七、湿地通過性能ハ全裝軌ニ比シ若干低下ラ免カレザル
 ベシ
 之ヲ要スルニ積載面積ヲ大ナラシムル爲ニハ構造上全裝

軌車ト渠モ戰車ノ如ク十分ナル能力ヲ發揮シ得ザル所アリ
 リ半裝軌車ハ積載面積ヲ大ナラシメ路上進行ニ於テ著シ
 ク有利ナル上構造ニヨリテハ路外通過能力モ一般地形ニ
 於テハ全裝軌ト同等ナル性能ヲ發揮シ得
 四 半裝軌車輛ノ運動性能増進ニ關スル考察
 半裝軌車輛ノ路外地・湿地等ニ於ケル性能向上ノ爲メ各
 種方法ハ米ノ研究中ニ居スルモ將來研究ノ結果更ニ性能
 ノ向上ヲ期シ得ルモノト認め 目下研究実施中ノ方法次
 ノ如シ
 一 壕・堤塘通過能力ノ増進ノ補助装置
 半裝軌車輛ハ前輪が障礙通過能力ヲ限害スルコト多キ
 ラ以テ前方ニ橋ヲ附スル時ハ壕・堤塘等ノ通過能力ヲ
 増進ス而シテ此等ハ半裝軌ノ欠点タル前輪取附ノ有
 效ナル庇護トナルモノナリ

0622

ス、湿地通過能力増進ノ補助装置
半装軌車ノ湿地ニ於ケル不利ハ前輪が湿地ニ突入スル
事ナリ故ニ機ヲ附シ此ノ部ヲ支フル如クハ某程度湿
地性能ヲ増カスル事ヲ得ベシ

0623